

▲ピニールボルの部
(総合体育館)



▲グラウンド・ゴルフの部
(大河原公園)



▲バタンの部
(総合体育館前広場)



ソフトボールの部 (大中グラウンド)

最大の敵は熱中症!? 町民レクリエーション大会

7月6日、スポーツ・レクリエーションを通して町民の健康づくりとともに幅広い交流を促進するため、4種類の競技(ソフトボール、ピニールボール、バタンク、グラウンド・ゴルフ)による町民レクリエーション大会が開催されました。

梅雨の晴れ間となったこの日は朝から気温が上がり、各選手は水分補給やタオルなどで日差し対策をしながらの試合となりました。各競技とも上位チームは県大会(宮城ヘルシー大会)へ出場できるとあって、各会場では暑さを上回る熱戦が繰り広げられました。

なお、試合結果は下欄をご覧ください。

《町民レクリエーション大会結果》(敬称略)

【ソフトボール】	Aブロック 優勝 稗田	準優勝 上川原	第3位 金ヶ瀬5、上谷3
	Bブロック 優勝 南原前	準優勝 尾形丁1	第3位 新田町、末広
【ピニールボール】	Aブロック 優勝 桜町1	準優勝 南原前	第3位 原前、上町1
	Bブロック 優勝 新田町	準優勝 金ヶ瀬6	第3位 保料、中町
【バタンク】	大人の部 優勝 本町2A	準優勝 原前B	第3位 保料A、住吉町A
	小学生の部 優勝 上川原	準優勝 上谷3	
【グラウンド・ゴルフ】	優勝 郡司忠俊(稗田)	準優勝 森田健治郎(南原前)	第3位 松田寿男(稗田)

高齢者の歯と口の悩み相談所

みやぎ訪問歯科・救急ステーション

「みやぎ訪問歯科・救急ステーション」では昨年10月から、寝たきりのかたや認知症などにより1人では歯医者への通院が難しいかたに訪問診療を行っています。

奥田まゆみ所長は「入れ歯が合わなくて悩んでいるという相談がとても多いようです。また、ほかの病気で通院されているかたでも、要件に該当すれば訪問診療ができる場合がありますので、相談してください」とPR。同ステーションでは、今後も積極的に地域への働きかけを行っていくとのこと。みやぎ訪問歯科・救急ステーションへの問合せは☎0224-53-9188まで。



「歯や口に悩みがあるかた、ご家族やケアマネージャーのかたはまずご相談ください」と奥田所長。(ステーションの診療室にて)

夏の交通事故防止のために



宮城県と宮城県警では、夏季の行楽時などの長距離運転による過労・漫然運転による交通事故防止と、夏の開放感による暴走族などの暴走行為等を封じこめる暴走族根絶運動を展開しています。

1. 期間 8月20日(※)まで
2. 重点目標

- (1) 適度な緊張感を保持したゆとりのある運転の徹底
 - (2) 暴走族の根絶
 - (3) すべての座席でシートベルトの正しい着用徹底
3. それぞれの立場での取り組み

1. 運転者
 - 下記の「安全運転五則」や「高速運転安全五則」を励行し、交通ルールの順守と交通マナーを実践しましょう。
 - 眠気、疲労を感じたら、早めに休憩しましょう。
 - 過労運転にならないよう

- 十分な休養を確保し、適度な緊張感を保持して運転に集中するよう努めましょう。
- ドライブや旅行は余裕のある計画を立て、ゆとりある運転をしましょう。
- 運転者は同乗者にシートベルトやチャイルドシートを正しく着用させましょう。
- Ⅱ. 歩行者
- 横断歩道、信号機等を利用して、正しい横断をしましょう。
- 道路横断時の安全確認を徹底しましょう。
- 夜間は明るい目立つ色の服を着用し、反射材、LEDライトを有効活用しましょう。
- 「自転車通行可」の歩道上では建物寄りを歩行しましょう。
- Ⅲ. 地域・家庭
- 車を使用した長距離旅行は、無理な計画を避け、ゆとりある計画を。
- 車で出掛けるときは、シートベルトやチャイルドシートへの着用の声掛けを。
- Ⅳ. 職域での実践事項
- 安全運転管理を徹底し、過労運転を防止しましょう。
- 若者を対象に参加・体験・実践型の交通安全講習会を開催し、交通安全意識の高揚を図りましょう。

- Ⅰ. 運転者
- 下記の「安全運転五則」や「高速運転安全五則」を励行し、交通ルールの順守と交通マナーを実践しましょう。
- 眠気、疲労を感じたら、早めに休憩しましょう。
- 過労運転にならないよう

町民の声 おたよりご紹介

○ 『県南浄化センター』を見学して

6月16日(月)、川西地区十六区区長会では、西部地区民生児童委員との交流の一環として、県南浄化センターを見学しました。

県南浄化センターは、名取川以南と阿武隈川及び白石川流域の5市6町を対象とし、水質保全と生活環境の改善や豊かな暮らしを実現するため、県内で2番目の流域下水道として岩沼市下野郷に設立され、昭和60年1月に供用開始しました。現在の処理人口は35万9千人、今後処理人口が増える可能性は少ないとのことでした。先の3・11東日本大震災の巨大津波により壊滅状態になりましたが、平成25年3月22日に災害復旧工事が完工し施設の見学が再開されました。

当日は、「下水道処理のしくみ」「下水の中の微生物のさまざまな活動」などのビデオを見せていただいたり、浄化センター内施設(中央監視室

のほか、巨大津波により被災した様子などの生々しい写真パネル展示)の説明を受けながら見学したりしました。

このほか、下水道の目的として、河川や海の汚れを防止し水環境を守るため、衛生的で快適な水洗トイレ使用を通してドブや水溜りをなくし悪臭を一掃すること(公害を出さない)。これを守るには一人ひとりの心がけが大切であることを痛感しました。

おわりに、今後さまざまな研修を通じて情報を収集し、その成果を地域の福祉活動の推進にお役に立てられるよう取り組んでまいりたいと思っております。

(桜町一区区長 甲賀政則さん)

